

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



2019/08/18

参加者写真

① 低炭素社会
 CO₂削減効果が見込める
 再生抑制を目指す社会

② 循環型社会
 限りある資源を大切に
 3Rを実践する社会

③ 自然共生社会
 生物多様性を重視する社会
 3Rの意味

あさひこども環境教室
 コーポレート社会は環境活動には積極的で特に持続可能な社会を目指してスーパ、業界では唯一環境に対して社会貢献活動を推進している。

わくわくピア探検



2019/08/18

エコ工作えんがわり



2019/08/18



2019/08/18

夏の学習は毎年モントセル狩りです。グリーンテレビも取材



ECOLOOL
 商品包装に水性印刷を採用。
 地球や印刷工場に働く人たちの健康に貢献します。
 人と環境と食品やさしい水栓インキ。

商品パッケージの印刷も水性インキです。



2019/08/18

文房具
 リサイクルで出来た商品マーク
 りんごマークもこちら。



2019/08/18